

Web シラバスの確認・編集方法

※作業時はこまめに保存を行ってください！！

- 1, 畜大ポータル (<https://gkm02.obihiro.ac.jp/Portal/Login.aspx>) にアクセスする。
- 2, メールで使用している ID とパスワードを入力。(確認されたい方は情報処理センターまでお問い合わせ願います。)
- 3, シラバスをクリック。

The screenshot shows the GKM02 portal homepage. At the top, there is a navigation bar with buttons for 'トップページ', 'メッセージ', '履修・成績情報', '掲示板', '教室管理', and 'アンケート'. Below this, a second row of buttons includes 'シラバス', '各種設定', and 'moodle'. A black box highlights the 'シラバス' button, with a line pointing to another black box labeled 'クリック'. Below the navigation bar, there are buttons for '個人予定メモ', '申請書ダウンロード', '申請書登録', and '授業情報一覧'. A 'メッセージ' box indicates '13件あります'. A 'マニュアル' button is on the right. There are radio buttons for '表示' and '非表示'. A search box is labeled '指定した日付へジャンプ'. A '最新の情報に更新' button is present. On the right, there are buttons for '月間予定表', '前の週へ', and '次の週へ'. At the bottom, a '時間割表' (timetable) is shown with columns for dates from 2/6 to 2/12. The 2/10 (金) column is highlighted in blue and contains a list of course registration periods: '畜産 成績登録期間', '修士 成績登録期間', '別科 成績登録期間', '博士前期 成績登録期間', and '博士後期 成績登録期間'.

- 4, シラバスをクリック

This is a close-up screenshot of the 'シラバス' button in the navigation bar. The button is highlighted with a red underline. A black box highlights the 'シラバス' text, with a line pointing to another black box labeled 'クリック'. Below the button, there is a '全シラバス検索' button.

5, シラバス編集を行う科目の「記入」ボタンをクリック

[史料](#)

シラバス記入科目一覧

開講年度	開講学期	学部・学科	時間割コード	授業科目名 責任教員名(教員コード)	曜日・時限	クラス	日本語			英語			登録期限
							登録状況	記入	閲覧	登録状況	記入	閲覧	
1 2016年度	3年通年(秋)	大学院畜産学研究所 博士後期課程	96009011	プレゼンテーション演習 各指導教員(900000)	集中		未記入	<input type="button" value="記入"/>		未記入	<input type="button" value="記入"/>		

トップページ > シラバス一覧

クリック

▲ ページの先頭へ

6, 全ての項目に記入をお願いいたします。(平成 29 年 3 月 5 日 (日) 中)

※前年度のシラバスを呼び出したい場合は、「2016年度担当分参照」ボタンをクリックしてください。

単位数		授業形態	
2		演習	
登録状況	前回登録者	前回更新日時	
未記入			

ここをクリックし該当の科目のコピーボタンを押すと、2016年度のシラバスの内容が挿入されます。

授業概要

※プレビュー画面から、シラバスの確認・印刷も可能です。

7, 10MB 未満のサイズの画像ファイル等を添付し公開することができます。
参考写真やルーブリック表等の添付にご利用下さい。(任意)

ループリック表などの参考画像

※ 10MB以内で添付してください

ファイルを選択 選択されていません

クリック



「.png」「.jpg」「.jpeg」「.gif」形式のファイルが添付可能です。

↓このように掲載されます。

ループリック表などの参考画像

物理学概論 成績評価ルーブリック Ver.0

到達目標 (評価基準)	主な評価基準		
	十分に到達できている	一部は到達できている	到達に相当の努力を要する
1) 質点の運動を定量的に解析することができる。	(1) 速度や加速度を用いて、運動を数量的に表現できる。 (2) 運動の法則を用いて、運動を調べることができる。 (3) 力学的エネルギー保存の法則を用いて、運動の主要な性質を調べることができる。	加速度の扱いは不十分だが、速度は扱うことができる。 結論は不十分だが、運動の法則は適用できる。 法則の適用は不十分だが、力学的エネルギーを計算することはできる。	速度や加速度の扱いを再学習する必要がある。 運動の法則について再学習する必要がある。 力学的エネルギーについて再学習する必要がある。
2) 場の運動や現象を定量的に表現することができる。	(1) 弾性体の物性やエネルギーとそれらの関係を、数量的に表現できる。 (2) 流体の物性やエネルギーとそれらの関係を、主要な法則を用いて調べることができる。 (3) 波動にもとめる物理量を、定義にもとづいて求めることができる。 (4) 波動の性質を、主要な法則を用いて調べることができる。	弾性体に関する一部の物理量を計算することができる。 法則の適用は不十分だが、流体に関する一部の物理量を計算することはできる。 定義の説明は不十分だが、波動に関する一部の物理量を計算することはできる。	弾性体の物性について再学習する必要がある。 流体の物性について再学習する必要がある。 波動の物理量について再学習する必要がある。
3) 熱力学の法則を適用してマクロな現象を説明することができる。	(1) 熱現象のエネルギーや仕事の関係について、熱力学第1法則を適用することができる。 (2) 熱現象のエネルギーや仕事の関係について、熱力学第2法則を適用することができる。	結論は不十分だが、熱力学第1法則を一部の系に適用することはできる。 結論は不十分だが、熱力学第2法則を一部の系に適用することはできる。	熱力学第1法則について再学習する必要がある。 熱力学第2法則について再学習する必要がある。
4) 電気や磁気の関わる現象について電磁気学の基本法則を適用して調べることができる。	(1) 電荷と電気的エネルギーの性質にもとづいて、静電気現象を定量的に説明することができる。 (2) 回路における電流と電気的エネルギーに関する物理量を、数量的に求めることができる。 (3) 磁場の生成や変化のエネルギーを応用する現象や技術について、基本法則を用いて定量的に説明することができる。 (4) 電磁波に関する現象の性質について、主要な法則・関係式を用いて調べることができる。	エネルギーの観点からは不十分だが、静電気現象を説明することはできる。 回路における一部の物理量を求めることができる。 基本法則との関係にもとづく説明は不十分だが、電磁に関する現象を説明できる。 法則の適用は不十分だが、電磁波に関する一部の説明をすることができる。	静電気現象について再学習する必要がある。 回路について再学習する必要がある。 磁場について再学習する必要がある。 電磁波について再学習する必要がある。
5) ミクロな系に関する古典物理学の適用について説明することができる。	(1) ミクロな系のエネルギーに関する古典物理学の記述の特徴について、例を挙げて指摘することができる。	指摘内容は不十分だが、ミクロな系のエネルギーに関する特徴について、例を挙げることはできる。	ミクロな系の物理現象について再学習する必要がある。

履修にあたっての注意事項

履修を希望する学生は、初回の授業に必ず出席すること。やむを得ず出席できない場合には、必ず担当教員に連絡す

8, 授業資料等をシラバスに掲載することもできます。(任意)

添付ファイル 学外非公開

ファイルを選択 選択されていません クリックしてファイルを選択

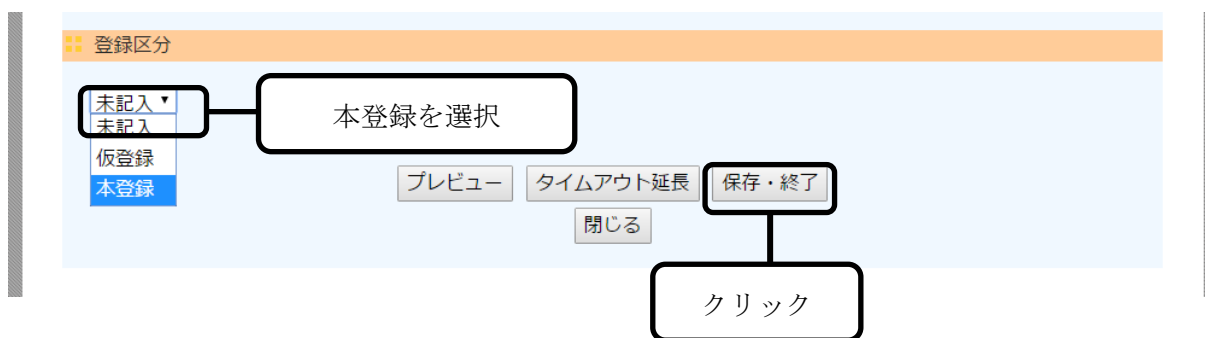
ファイルを選択 選択されていません

ファイルを選択 選択されていません

ファイルを選択 選択されていません

ファイルを選択 選択されていません

9, 登録区分を「本登録」に、保存・終了をクリック。



10, 5, ~9, の手順を繰り返します。全科目に記入してください。